

平成 28 年度 桜井市社会福祉協議会事業報告

桜井市社会福祉協議会（以下「社協」という。）は、年度当初に策定された事業計画に基づき、各重点項目を中心に多岐にわたる福祉活動を展開することによりまして、地域ぐるみの助け合いや支え合いなどの活動支援や福祉サービス利用者の自立支援のため、良質かつ適切な各種サービスの提供に努めるとともに、「やさしさ ふれあい 安心のまちづくり」の実現をめざしてまいりました。

平成 28 年 8 月より本協議会「事務所」「クローバー学園」「こころ」の各事業所が保健福祉センター「陽だまり」に移転し、福祉センターについては分館の建物を市から無償譲渡を受け、「あゆみ」「れいんぼー」の事業所が活用し、会議室は「ボランティア室」として活用されています。移転に伴い賃料・地代が発生する事となり負担を伴う事になりましたが、地域の皆様に密着した福祉サービスの提供に努めてまいりました。

法人事業

社会福祉活動功労者表彰式を開催し各種表彰状を授与させていただきました。大福校区において給食サービス事業や、善意銀行運営事業を行いました。

地域福祉事業

主な事業の執行状況につきましては、市と共催で自治連合会及び、福祉関係団体やボランティア団体の協力をいただき、6 月 4 日（土）に市民体育館において、「市民ふれあい福祉まつり ～思いやり、心ときめく、ふれあうよろこび～」を開催しました。当日は、多数の参加者により盛大に開催することができました。参加された皆様には楽しんでいただけたと思います。

また、地区社会福祉協議会や地域福祉委員の地域活動や、地域情報を発信する校区の広報活動を支援し、地域住民一人ひとりが地域福祉への理解と関心を深めるための手助けをすることに努めてまいりました。

さらに、「社協だより」の年 3 回配布と社協ホームページによる情報発信などの広報活動を展開し、わかりやすい情報の提供と、社協活動への市民の理解と協力に努めてまいりました。また、地区社会福祉協議会や地域福祉委員の協力のもと、住み慣れた地域で誰もが安心して、元気でいきいきと暮らせる取り組みとして、在宅の高齢者や障害者等に対する「ふれあいサロン」活動への助成を行うなど、小地域福祉ネットワークづくりを推進し、地域に密着した福祉活動を展開することにより、地域の支えあい、助け合いによるネットワーク活動が拡がりつつあります。

介護保険制度改正による、地域包括ケアシステムにおける地域ケア会議に、構成員の一員として参加しております。今後は更に、自治連合会・民生児童委員連絡協議会・地区社会福祉協議会・地域福祉委員などと連携しながら、小地域福祉ネットワークを基盤に、地域とともに支え合う地域づくりを推進し、地域の福祉課題解決に取り組んでまいります。

また、誰もが相談しやすい窓口機能として、「心配ごと相談所事業」や「生活福祉資金貸付事業」を引き続き実施するとともに、判断能力が不十分な高齢者や障害者の金銭管理や権利を擁護する「地域福祉権利擁護事業」の積極的な実施に努めてまいりました。

また、共同募金運動に積極的な推進・協力することにより、地域福祉、在宅福祉活動を計

画的に展開するための主要な財源である共同募金配分金の安定した確保に努めてまいりました。

ヘルパーサービス事業

社協が実施する介護保険事業、障害福祉サービス事業として、可能な限り居宅においてその有する能力に応じ自立した日常生活を営む事が出来る様、訪問介護事業、障害者介護事業、居宅介護支援事業、通所介護事業を実施し、利用者への良質な福祉サービスの提供に努めました。

障害者福祉サービス事業

障害福祉サービス事業では、障害福祉サービスセンター「あゆみ」において、障害者に対し自立促進や生活改善のための機能訓練などのサービスを提供するとともに、児童発達支援事業所「クローバー学園」では、利用者に応じた各種療育指導を実施いたしました。

受託事業

相談支援事業として相談支援事業所「こころ」において、障害者からの各種相談に応じ適切な助言や支援を行いました。

地域活動支援センター事業として地域活動支援センター「こころ」では、精神障害者に対し日中活動の居場所を提供するとともに、各種プログラムにより生活の質を向上させるよう支援を行いました。

指定管理事業

福祉センター（平成 28 年 4 月～7 月）及び高齢者総合福祉センター（竜吟荘）の施設運営にあたりましては、市から指定管理業務として受託し利用促進を図るとともに、経費を節減した施設管理に努め、運営事業などを通して、地域福祉の充実や高齢者の健康づくりや生きがいを支援しています。

ボランティアセンター事業

ボランティアセンターでは、各種講座や研修会、学校への出前講座などを実施し、ボランティアの育成と普及、啓発に努めるとともに、市と共催でボランティア推進講演会を開催し、ボランティア活動の理解と積極的な参加を呼びかけました。

また、ボランティアについての、相談の受付や情報の収集・提供など、ボランティアに関するコーディネートを行い、ボランティアの輪が広がるよう努めました。

社協といたしましては、財政面において補助財源及び、自立財源の最大限の確保と経費削減を図りながら、効率的な法人運営に努めているところであります。

以上が事業の概要ですが、詳しい内容については、次のとおりです。

1. 法人事業

(1) 法人運営事業

① 理事会・評議員会の開催

第1回理事会・評議員会

【開催日】平成28年5月24日(火)

【場 所】市福祉センター本館大会議室

第2回理事会

【開催日】平成28年5月30日(月)

【場 所】市福祉センター分館ボランティア室

第3回理事会・第2回評議員会

【開催日】平成28年12月6日(火)

【場 所】市役所大会議室

第4回理事会・第3回評議員会

【開催日】平成29年3月21日(火)

【場 所】市役所大会議室

三役会の開催

第1回【開催日】平成28年5月9日(月)

【場 所】市福祉センター本館小会議室

第2回【開催日】平成28年6月7日(火)

【場 所】市福祉センター本館小会議室

第3回【開催日】平成28年9月14日(水)

【場 所】市保健福祉センター陽だまり

第4回【開催日】平成28年11月18日(金)

【場 所】市保健福祉センター陽だまり

第5回【開催日】平成29年2月8日(水)

【場 所】市保健福祉センター陽だまり

② 役員研修会の開催

【研修日】平成28年12月6日(火)

【場 所】市役所大会議室

【内 容】改正社会福祉法について

・社会福祉法人制度改革について

・役員等の権利義務について

・社会福祉充実計画について

【講 師】松村祥成 氏 (中畷大会計事務所 非営利法人支援部長)

【参加者】理事8人 監事2人 評議員31人

③ 社会福祉活動功労者表彰式の開催

地域福祉の増進や住民生活の安定と向上のために尽力され、その功績の顕著な市民のみなさんを対象に、その労に対し敬意を表し、各種表彰状を授与した。

【開催日】平成28年9月3日(土)

【場 所】市役所大会議室

【表彰者】市長感謝状4人 市社協会長表彰状16人

(2) 給食サービス事業 (桜井市補助事業)

大福小学校区の食事調達が困難な65歳以上の寝たきり、虚弱、障害者、独居老人などの安否確認や食生活の改善を図ることを目的に、桜井西老人憩の家で毎月1回、大

福校区給食サービス推進協議会が主となり、ボランティアスタッフなどによる栄養バランスのとれた手づくりの食事を提供し、交流を図った。

また、月2回程度手づくり弁当を自治会や老人クラブ、民生児童委員、ボランティアなどの協力により、配食するとともに安否確認を行った。

○ 実績報告

	平成28年度	平成27年度
実施回数	37回	37回
利用人数	1,997人	2,101人

(3) 善意銀行事業

市民の皆様からいただいた数多くの善意の預託を、福祉施設、被災された世帯に見舞金を支給した。

○ 善意銀行役員会

【開催日】平成28年12月6日(火)

【場 所】市役所大会議室

○ 収支状況

収 支 項 目		平成28年度		平成27年度
繰越金(定期預金を含む)		20,874,589円		20,630,525円
預託金	19件	4,101,739円	22件	852,058円
預金利子(定期預金を含む)		20,390円		22,241円
収 入 合 計		24,996,718円		21,504,824円
払い出し金(見舞金等)		734,155円		630,235円
翌年度へ繰越金(定期預金を含む)		24,262,563円		20,874,589円

2. 地域福祉事業

(1) 地域福祉事業

地域住民の参加と福祉施設など関係機関の連携のもと、住民相互の助け合いや交流の輪を広げ、共に支え合う地域づくりを行うため、地域に即した創意と工夫で、より具体的な課題に対応する事業を実施した。

① 心配ごと相談

毎週木曜日に民生児童委員(24人の常任相談員)による福祉関係における心配ごとについての相談に対応した。また、専用電話による電話相談にも対応した。

○ 相談状況 ()内27年度参考

	開設日数	相談件数	相談者数	相談員
心配ごと相談	46日(49日)	42件(29件)	23人(14人)	民生児童委員
心配ごと相談日以外の日の相談		0件(1件)	0人(1人)	社協職員

(相談件数は、1人の相談者で複数の内容の相談があった場合は、それぞれ1件として集計しています。)

○ 心配ごと相談所の相談員研修会

【開催日】平成29年3月22日(水)

【場 所】市保健福祉センター陽だまり北棟会議室2

【テーマ】「心配ごとをお聴きするための勉強会」

② 物品の貸出し

○ 車椅子貸出し

高齢者や足腰の不自由な方、または病気やケガなどで一時的に歩行困難になった場合など一回につき最大 10 日間まで、無料で貸出しを行っている。

年間 79 件(平成 27 年度 77 件)の市民のみなさんからの利用があった。

また、車いす体験をとおした障がいへの理解を深める学習、サロン活動のほか、選挙期間には行政への貸出し、公共施設等への長期貸出しなど、年間 7 件の貸出しを行った。

③ 「市民ふれあい福祉まつり」の開催

市内の各種団体の協力のもと、「～思いやり、心ときめく、ふれあうよろこび～」をテーマに第 11 回目となる「市民ふれあい福祉まつり」を開催した。

【開催日】平成 28 年 6 月 4 日(土)

【場 所】桜井市民体育館

【内 容】ふれあいイベント、バトントワリング・フラダンス、和太鼓の演奏 など

④ 地域福祉活動のコーディネート

地域福祉活動コーディネーターを配置し、地域住民による福祉のまちづくりの企画立案の調整や相談・援助活動などを行った。

⑤ 小地域福祉ネットワーク活動の推進

○ 地域福祉委員等活動の推進

「ふれあいサロン活動助成金交付要綱」に基づき、地域福祉委員等を中心とした小地域福祉活動の柱の一つである「ふれあいサロン活動」の活発な取り組みをめざした。

平成 28 年度中に、「ふれあいサロン活動」を実施された 56 地域(平成 27 年度 45 地域)に対して助成金を交付した。

○ 地区社会福祉協議会活動の推進

市内 13 地区において地区社協の活動が進められている。また、地区社協会長連絡会を開催し、情報交換や意見交換を行った。

【開催日】平成 29 年 3 月 27 日(月)

【場 所】市保健福祉センター陽だまり 2 階ボランティアルーム

○ 民生児童委員・福祉委員・自治会との連携強化

小地域福祉ネットワークづくり構築のため、民生児童委員・福祉委員・自治会との連携を図り、地域福祉の推進に努めた。

⑥ 「社協だより」の発行

社会福祉協議会の啓発と地域福祉事業、ボランティア事業の推進を図るため「社協だより」を発行(年 3 回)した。

⑦ 福祉サービス利用援助事業(地域福祉権利擁護事業)

認知症高齢者や知的障害者、精神障害者など意思決定能力の不十分な方たちに対し、福祉サービスの利用についての情報提供や諸手続きの援助、日常的な金銭管理などを行うことにより、対象者の地域での自立した生活が可能となるよう支援をし、福祉権利の擁護に努めた。

	平成 28 年度	平成 27 年度
利用者数	31 人	36 人
訪問回数(延べ数)	321 回	453 回

(2) 共同募金事業

市民各位の深いご理解、ご協力と関係各位のご尽力により、次のとおり実績をあげる

ことができ、市内福祉施設・社会福祉活動団体・障害者(児)活動団体などが実施する福祉事業に助成した。

① 共同募金活動への協力

○ 実績報告

募 金 種 別	平成 28 年度	平成 27 年度	前年比
共 同 募 金	9,950,000 円	9,793,582 円	101.5%
戸 別 募 金	2,501,051 円	2,516,807 円	99.3%
街 頭 募 金	276,268 円	263,396 円	104.8%
職 域 募 金	600,044 円	570,481 円	105.1%
学 校 募 金	112,106 円	156,515 円	71.6%
法 人・大 口 募 金	5,345,600 円	5,186,199 円	103.0%
そ の 他	1,114,931 円	1,100,184 円	101.3%
歳末たすけあい募金	2,360,123 円	2,483,174 円	95.0%

② 共同募金の配分

住みよい地域づくり支援事業…2,409,400 円を 16 団体へ配分

③ 歳末たすけあい募金の配分

福祉施設等…2,360,123 円を 25 団体へ配分

(3) 生活福祉資金貸付事業(奈良県社協受託業務)

低所得・高齢者・障害者世帯への資金の貸付けと必要な援助を行い、経済的自立・生活意欲の助長促進並びに、在宅福祉及び社会参加の促進を図った。

資 金 名	平成 28 年度		平成 27 年度	
	貸付件数	貸付額	貸付件数	貸付額
総合支援資金[生活支援費]	2 件	150,000 円	0 件	0 円
福祉資金[福祉費]	4 件	2,739,000 円	6 件	881,000 円
緊急小口資金	5 件	430,000 円	5 件	500,000 円
教育支援資金	5 件	6,570,000 円	1 件	975,000 円
臨時特例つなぎ資金	0 件	0 円	1 件	69,000 円
合 計	16 件	9,889,000 円	13 件	2,425,000 円

(4) 貸館事業

社会福祉の増進と福祉活動の促進に取り組む団体及び桜井市ボランティアセンター登録されているグループ・団体に対し、市民活動への支援と自発的な活動の継続、活性化を促進することを目的とし、市社会福祉協議会分館ボランティア室及び市保健福祉センター陽だまりボランティアルームの貸館を行った。

場 所	期 間	件 数	人 数
分館ボランティア室(録音・点字室含む)	H28 年 8 月～H29 年 3 月	108 件	1,319 人
陽だまりボランティアルーム	H28 年 9 月～H29 年 3 月	6 件	59 人

3. ヘルパーサービス事業

利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の心身の状況や置かれている環境に応じて、必要な介護保険サービスまたは障害福祉サービスを適切かつ効果的に提供することを目的として次の事業を実施した。

(1) 訪問介護事業 [ヘルパーステーション「れいんぼー」]

- サービス提供日時
年中無休(但し、1月1日から1月3日を除く)
午前7時から午後7時
- サービス内容
【身体介護】入浴介助・清拭・洗髪/排泄介助/食事介助/衣服の着脱/通院介助など
【生活援助】調理/洗濯/掃除/買い物/その他相談、助言/関係機関への連絡など
- 平成28年度事業実績
【延べ利用者数】9,599人(平成27年度 10,229人)
- 福祉サービスに関する苦情受付
【苦情件数】0件

(2) 障害者介護事業

① 居宅介護事業 [ヘルパーステーション「れいんぼー」]

- サービス提供日時
年中無休(但し、1月1日から1月3日を除く)
午前7時から午後7時
- サービス内容
【身体介護】入浴介助・清拭・洗髪/排泄介助/食事介助/衣服の着脱/通院介助など
【家事援助】調理/洗濯/掃除/買い物/その他相談、助言/関係機関への連絡など
- 平成28年度事業実績
【延べ利用者数】4,062人(平成27年度 4,598人)
- 福祉サービスに関する苦情受付
【苦情件数】0件

② 重度訪問介護事業 [ヘルパーステーション「れいんぼー」]

- サービス提供日時
年中無休(但し、1月1日から1月3日を除く)
午前7時から午後7時
- サービス内容
重度の肢体不自由があり常に介護が必要な方に対して、排泄や入浴に係る部分の介助、胃ろう部からの注入等の身体的な介護や掃除、洗濯、食事の準備等の家事を包括的に行う
- 平成28年度事業実績
【延べ利用者数】568人(平成27年度 434人)
- 福祉サービスに関する苦情受付
【苦情件数】0件

③ 同行援護事業 [ヘルパーステーション「れいんぼー」]

- サービス提供日時
年中無休(但し、1月1日から1月3日を除く)
午前7時から午後7時
- サービス内容
視覚障害者の移動時及びそれに伴う外出先における必要な移動の援護、視覚的情報の支援、排泄、食事等の介護その他外出する際に必要となる援助
- 平成28年度事業実績
【延べ利用者数】157人(平成27年度 269人)

- 福祉サービスに関する苦情受付

【苦情件数】0件

④ 移動支援事業 [ヘルパーステーション「れいんぼー」]

屋外での移動が困難な障害者に対し、地域での自立生活及び社会参加を促すことを目的に、ホームヘルパーが外出の支援を行った。

- サービス提供日時

年中無休(但し、1月1日から1月3日を除く)

午前7時から午後7時

- 平成28年度事業実績

【延べ利用者数】59人(平成27年度 181人)

- 福祉サービスに関する苦情受付

【苦情件数】0件

(3) 居宅介護支援事業 [指定居宅介護支援事業所「れいんぼー」]

- サービス提供日時

月曜日から金曜日(但し、12月29日から1月3日と祝日を除く)

午前8時30分から午後5時15分

- サービス内容

居宅サービス計画作成及び調整/申請手続きなどの代行/相談・要望・苦情などへの対応/保険給付管理票の作成/要介護認定訪問調査

- 平成28年度事業実績

【ケアプラン作成数】延べ995件(平成27年度 1,009件)

【給付管理票作成数】延べ790件(" 818件)

【要介護認定訪問調査数】 42件(" 141件)

- 福祉サービスに関する苦情受付

【苦情件数】0件

(4) 通所介護(介護予防通所介護)事業 [デイサービスセンター「れいんぼー」]

- サービス提供日時

水曜日から日曜日(但し、12月29日から1月3日と祝日の翌日を除く)

午前10時から午後4時

- サービス内容

入浴サービス/給食サービス/生活指導/日常生活訓練/健康チェック/送迎

- 事業実績

	平成28年度	平成27年度
実利用者数	47人	51人
延べ利用者数	3,274人	3,220人

- 福祉サービスに関する苦情受付

【苦情件数】0件

4. 障害者福祉サービス事業

(1) 障害福祉サービス事業

生活介護事業 [障害福祉サービスセンターあゆみ]

障害者の自立促進、生活の改善、身体機能の維持向上を図ることができるよう、通所

による機能訓練、創作的活動や入浴サービスなどの各種サービスを提供することにより、障害者の自立と社会参加を促進し、障害者の福祉の増進に努めた。

平成 23 年度から、利用者の家族の就労支援、利用者を日常的に介護している家族の一時的な休息の確保を目的に日中一時支援事業を開始した。

○ サービス提供日時

月曜日から金曜日(但し、12月29日から1月3日と祝日を除く)

午前10時から午後4時

午前8時から午前10時及び午後4時から午後7時(日中一時支援事業)

ただし、緊急やむを得ない時は延長あり。

○ 事業実績報告

	平成 28 年度	平成 27 年度
実利用者数	28 人	28 人
延べ利用者数	2,441 人	2,711 人
実利用者数(日中一時支援)	8 人	9 人
延べ利用者数(日中一時支援)	199 人	146 人

○ サービス内容

・ 機能訓練

定期的に理学療法士らの指導・助言を仰ぎ、個々の訓練プログラムに沿った機能訓練、言語訓練、摂食指導を行った。個々の身体にあった補装具、器具を使用し、関節可動域訓練、筋力強化訓練、歩行訓練、バランス訓練などの運動療法を行い、また体感マッサージ(緊張を緩め関節の動きを矯正する)を定期的に行い、座位保持姿勢を長く保てるよう訓練いすの使用や介助者による座位補助を行い、寝たきり、寝かせきりにさせない身体機能の維持・向上を図った。

・ 創作的活動

組みひも、陶芸、木工、手芸、フラワーアレンジメントなどの創作活動の中から利用者が選択し、自己表現を楽しみながら作品を作る喜びや、やり遂げる自信をつけることで、生活経験を豊かにし、生きがいを高め、さらには社会参加につながった。

陶芸においては、「桜井市展」工芸の部で、利用者の作品「ふくろう香炉」が秀作イオン桜井店賞を受賞した。

・ 社会適応訓練

身体の残存機能を維持しつつ自分の生きがいや自立することを目的とし、パソコン教室、理美容、お話、音楽などの講習会や家事訓練(調理・おやつ作り・買い物)などを行った。また、障害者に対する理解が深められるよう、市内の小学生と交流する機会を持つことができた。

・ 入浴サービス

入浴における介護者の負担軽減を図ることを目的に、特殊浴槽による入浴サービスを週5回行った。入浴に際しては、安全衛生面に留意しながら、看護師による健康チェックを行い、その日の健康状態を把握しながら行った。

・ 更生相談

障害者本人及び家族が、介護や日常生活、社会活動を行う上での不便や悩みなどの相談援助や自分にあった介護用品、自助具などの情報提供や相談援助を行った。看護師による定期的な身体測定・健康相談を実施した。

・ スポーツ・レクリエーション活動

スポーツ・レクリエーションを通して季節感や開放感を味わったり、人と人と

のふれあいを深めることを目的とした花見(昭和公園・倉橋ため池ふれあい公園・満願寺八講桜・安部文殊院)・イオンモールアルル・まほろばキッチン等への外出、ふれあい福祉まつり・カラオケ・新年会(南京玉すだれ)などの軽スポーツ・レクリエーションの他、和食・ココス等の外食やひなまつり会・いちご狩り・夏まつりといった季節に合わせた行事を計画実施した。

今年度も引き続き、二人の方が行きたい所(イオンモール檀原・郡山イオン・奈良良文化会館・大丸梅田店・EXPOCITY等)を決め、介護タクシーを使用して外出した二人フリーデイを実施した。

・送迎サービス

家族の送迎や自力通所が困難な利用者を対象に、自宅前まで送迎サービスを行った。

○ 福祉サービスに関する苦情受付

【苦情件数】0件

(2) 児童発達支援事業

児童発達支援事業 [児童発達支援事業所 クローバー学園]

発育・発達が遅い未就学児童に対して、遊びやさまざまな活動を通して、小集団または1対1による指導を行い精神・情緒の発達を促し、社会生活の適応を高め、豊かに伸びゆく可能性を引き出せるよう支援した。保護者に対しては、発達の遅い子どもについての基本的な知識や、利用者の特性に応じた家庭での関わり方などを示しながら学んでもらい、子育てを一緒に考えながら利用者の立場に合うようなサービスを提供した。

○ サービス提供日時

月曜日から金曜日(但し、12月29日から1月3日と祝日を除く)

午前9時30分から午後5時

○ 事業実績

	平成28年度	平成27年度
実利用者数	10人	10人
延べ利用者数	1,169人	1,437人
実利用者数(ポーターゲージ訓練生)	24人	30人
延べ利用者数(ポーターゲージ訓練生)	349人	331人

○ サービス内容

・療育相談

療育に関する相談に応じることにより保護者の不安を軽減し、発達の遅い子どもに対しての知識と理解を深めた。

・グループ指導

小グループ(3~5人)の指導により、子どもたちの情緒の安定をはかりながら、身体全体を使っての粗大運動や指先の巧緻性を高めるための微細運動、音楽活動、農園活動などを行った。

・個別指導

ポーターゲージ法による発達チェックを保護者と共に行い、個々の発達に応じての課題を見つけ1対1の個別指導により、子どもの可能性を引き出すよう努めた。

※ ポーターゲージ法とは…発達に遅れがある乳幼児のための個別指導プログラムで、アメリカのポーターゲージ市で作成され、現在世界で応用され効果をあげている療育指導法の一つ。

- ・音楽療法

音楽療法士の指導のもと個別または小グループでのセッションを行い、音楽の特性を生かしながら心身に快い刺激を与え、毎日の生活で活かせるようなプログラムを行いながら音楽に触れた。

- ・アニマルセラピー

犬とふれあうことで、生き物へのやさしさと思いやりを育て、周りへの関心興味を広げていけるよう促した。

- ・制作活動

描く・作る・貼る・こねるなどの活動を通して、指先の微細運動から刺激を与え、描いたり、作ったりする楽しみを感じられるよう援助した。

- ・園外療育

園外に出かけ野外を歩くことで足腰を鍛え、周りに目を向け、季節を感じられるよう促し、農園活動を通じ野菜の栽培・収穫などを行うことで、自然への関心を高め豊かな感性を培った。

- ・その他

- ① 保護者との分離の日を設け、指導者と子どもだけで過ごす中で、身辺自立や社会性の面が伸びていくような関わりや補助を心掛けた。
- ② 皮フ・視覚・触覚に刺激を与える感覚あそびを多く取り入れた。
- ③ 季節にあわせた行事や誕生会を企画実施した。
- ④ 保護者の悩みの軽減や保護者同士のつながりも目的に、手をつなぐ育成会との話し合の場を設け交流した。

- 福祉サービスに関する苦情受付

【苦情件数】 0 件

5. 受託事業

(1) 相談支援事業(桜井市) [相談支援事業所「こころ」]

市内に居住する障害者などが自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、障害者などの福祉に関する各般の問題につき相談を受け、必要に応じ、対象者の訪問や来所された対象者への情報の提供や福祉サービスの利用などの支援を行った。

① 延べ相談受付件数

	平成 28 年度	平成 27 年度
身体障害者(児)	1,131 件	1,698 件
知的障害者(児)	1,310 件	1,584 件
精神障害者(児)	2,636 件	2,887 件
障害者手帳未取得者(児)	510 件	917 件
総 計	5,587 件	7,086 件
うち、新規相談者	76 件	57 件

② 精神障害者社会復帰事業 [ほっとスペース]

市内に居住する精神障害者保健福祉手帳所持者で、主に統合失調症の方を対象とし、茶話会・ハイキング・地域との交流・勉強会・料理教室などのイベントを月 1 回開催。グループワークを通して、精神障害のある人同士で悩みを語り合ったり、家族以外の人と交流できる場として位置付け実施した。

※ 統合失調症とは…10 代から 40 代くらいまでの比較的若い世代に起きやすく、主な症状として、実際には存在しない声や音が聞こえる幻聴や、あり得ないことを信じ

込んでしまう妄想、頭の中が混乱して考えがまとまらなくなる思考障害、興奮症状等をいう。

【延べ利用者数】52人(平成27年度47人)

③ 地域自立支援協議会の運営

障害者総合支援法に規定する地域における障害者児の相談支援体制の強化を目的として、障害福祉に関する関係者による連携及び支援の体制について協議し、ネットワークづくりを行っていくために、市内の障害者団体・事業所・学校関係等で部会員を構成し話し合いの場を持った。

○ 生活支援部会…開催なし(平成27年度2回開催)

・防災ワーキングチーム…5回開催(平成27年度3回開催)
福祉避難所に関する検討を実施。

・相談支援ワーキングチーム…8回開催(平成27年度12回開催)
桜井市内における相談支援について他機関との意見交換を実施。
困難なケースについてケース検討を実施。

○ 就労支援部会…5回開催(平成27年度5回開催)

・作業所の授産品販売を目的に「さくらショップ」の開催…1回開催
(平成27年度2回開催)

○ 全体会…1回開催(平成27年度2回開催)

【開催日】平成29年3月17日(金)

【場 所】市中央公民館3階大会議室

【内 容】座談会

「くらしやすいまちづくりについて～いっしょに話しませんか～」

【参加者】26人

・運営会議…2回開催(平成27年度2回開催)

④ 障害者総合支援法のサービス利用に基づく障害支援区分の認定調査の実施

【件 数】55件(平成27年度65件)

⑤ 障害者総合支援法に基づくサービス利用計画の作成、モニタリングの毎月実施

【利用者数】56人(平成27年度86人)

⑥ 福祉サービスに関する苦情受付

【苦情件数】0件

(2) 地域活動支援センター事業(桜井市) [地域活動支援センター「こころ」]

地域で暮らす精神障害者を対象に、日中活動の場(居場所)を提供し、各種プログラムの実施、日常生活や精神保健福祉に関する相談を通じて、生活の質を向上させるとともに、地域で支え合って自立した生活が可能となるように支援を行った。

○ サービス提供日時

月曜日から金曜日(但し、12月29日から1月3日と祝日を除く)

午前9時から午後5時

○ 事業実績

	平成28年度	平成27年度
延べ利用者・相談者数	3,147件	2,308件
登録者数	41件	33件

6. 指定管理事業

(1) 福祉センター事業

桜井市より指定管理(平成28年4月～7月)を受けている福祉センターは、心身障害者(児)への自立更生並びに福祉関係団体の活動の場として、障害者団体や福祉関係団体、ボランティアグループなどの活動の場として利用された。

また、福祉センター分館2階は、ボランティア活動の拠点として位置付けている。

○ センターの休館日・開館時間

- ・ 休館日 国民の祝日・12月29日～1月3日
- ・ 開館時間 月曜日及び火曜日 午前9時～午後5時まで
上記以外の開館日 午前9時～午後9時まで

○ 利用された団体等

	平成28年度	平成27年度
障害者団体	3団体	2団体
ボランティアグループ	11団体	21団体
福祉関係団体	6団体	2団体

○ 各部屋の使用状況(延利用人数:本会の直接利用を除く)

本館	平成28年度	平成27年度
2階 小会議室	215人	715人
3階 大会議室	538人	1,544人

※本館2階の一部は、指定障害福祉サービス事業所さくらんぼが利用し、知的障害者の自立更生を図るため、作業並びに生活訓練などが行われている。

分館	平成28年度	平成27年度
2階ボランティア室 (東・西・録音室を含む)	451人	2,002人

(2) 高齢者総合福祉センター運営事業

桜井市より指定管理を受けている当施設は、高齢者の文化教養活動やコミュニケーションづくりの場として、高齢者の利用促進を図るとともに、健康づくりや生きがいを支援した。

○ センターの利用資格・開館日・利用時間

- ・ 利用できる者
貸部屋は、市内在住の60歳以上の方
浴場は、県外、市外、年齢制限はなくどなたでも利用できます。
- ・ 開館日
水曜日から日曜日(但し、12月29日から1月3日までと祝日の翌日を除く)
- ・ 利用時間
午前9時から午後5時まで。但し、部屋の利用は午後4時まで。
浴場は、午前10時から午後4時まで。但し、受付は午後3時30分まで。

○ 入館者数及び各部屋・浴場の利用状況

・ 入館者数

	平成28年度	平成27年度
一般(個人)	7,471人	7,453人
趣味の会	2,263人	2,581人
団体	2,954人	2,896人
合計	12,688人	12,930人

・各部屋の利用者数

	平成 28 年度	平成 27 年度
大 広 間	2,411 人	2,216 人
研 修 室	2,202 人	2,566 人
講 座 室	497 人	555 人
合 計	5,110 人	5,337 人

・浴場の利用者数

	平成 28 年度	平成 27 年度
合 計	8,801 人	7,974 人

・趣味の会《参考》

趣 味 の 講 座	
竜吟書道クラブ	竜吟健康を創る会
竜吟囲碁クラブ	竜吟カラオケ会
竜吟パッチワークの会	

7. ボランティアセンター事業

市民のボランティア活動の推進を図るため、ボランティアセンターでは、ボランティア活動に関する必要な援助を行った。各種講座等の開催をとおして、ボランティア活動の普及・啓発に取り組み、ボランティアの養成・育成に努めた。社協のホームページに「ボランティアセンター」を掲載し、ボランティアの拠点として情報の提供を行った。

(1) ボランティア連絡協議会の事業開催（市ボランティア連絡協議会との共催）

ボランティアリフレッシュ講座

【開催日】平成 29 年 2 月 18 日(土)

【場 所】市立図書館

【演 題】笑顔こそが原動力！笑顔でつながるボランティア
『己抄呼～Misako～の笑う体操！』

【講 師】己抄呼～Misako～

【参加者】168 人

(2) ボランティアに関する相談・援助・登録・コーディネート・情報収集・提供

○ ボランティアセンター登録

【団体数】84 団体(平成 27 年度 82 団体)

【人 数】グループ所属 2,470 人(平成 27 年度 2,310 人)

個人登録 45 人(平成 27 年度 26 人)

○ ボランティアセンター利用状況

【訪問人数】2,780 人

【電話等件数】2,371 人

○ ボランティアに関するコーディネート

○ ボランティア関連団体、個人への活動支援

○ ボランティアに関する相談、問い合わせへの対応

○ ボランティアに関する情報収集・発信・提供

○ ボランティアに活用する用具等の貸し出し

○ ボランティア活動保険の加入手続き及び保険金請求手続き、加入料の助成申請補助

(3) ボランティア講座の開催

『障がい・高齢体験学習のサポートボランティア養成講習会』

【開催日】平成28年5月31日(火)、11月7日(月)、12月9日(金)

【場 所】旧市福祉センター、市保健福祉センター陽だまり

【参加者】15人

(4) 団体からの依頼による講演

ボランティア入門講座

【開催日】平成28年9月24日(土)

【場 所】市中央公民館

【参加者】手話奉仕員養成講座受講生15人

(5) 学校からの依頼による学習指導

○ 市立朝倉小学校で車いす、障がい・高齢体験学習の指導

【説明会】平成28年5月16日(月) 旧市福祉センター 参加者6人

【開催日】平成28年6月7日(火)

【場 所】朝倉小学校体育館

【参加者】朝倉小学校3年生30人、ボランティア12人

○ 市立初瀬小学校で車いす、障がい・高齢体験学習の指導

【説明会】平成28年11月22日(火) 市保健福祉センター陽だまり 参加者7人

【開催日】平成28年12月7日(水)

【場 所】初瀬小学校校舎

【参加者】初瀬小学校4年生22人、ボランティア10人

○ 市立桜井西小学校で車いす、障がい・高齢体験学習の指導

【説明会】平成29年1月10日(月) 市保健福祉センター陽だまり 参加者13人

【開催日】平成29年1月24日(火)

【場 所】桜井西小学校校庭、校舎、体育館

【参加者】桜井西小学校3年生86人、ボランティア21人